

# 楽ら読く楽ら書く

## 第36号

平成29年7月発行

精華町立図書館

所在地：〒619-0285 京都府相楽郡精華町大字南稲八妻小字北尻70番地

電話：0774-95-1911 FAX：0774-95-3976

HP：<http://www.town.seika.kyoto.jp/library/>

### おすすめの本

## 『やめるときも、すこやかなるときも』

窪美澄 (著) Fクボ

女癖の悪い家具職人の壱晴は、12月のあの日が近づくと毎年数日間声が出なくなる。日々黙々と家具を作りながらも、過去のトラウマをまぎらわせるために女を誘い続けている。

制作会社に勤める桜子は、酒癖の悪い父親から暴力をふるわれながらも家族を経済的に支えている。学生の頃から恋する暇もなく働き続けて、すでに32歳。恋愛らしいことはほとんどしたことがないが、自分を卑下することなく家から逃れるために結婚したいと思っている。

二人の視点から交互に語られる、心に傷を抱えた男女の行方。大切な誰かを失うこと、重りを背負って生きていくこと、「誰かにとって大切な誰かを、誰かに大事にしてほしいと思う気持ち」。結婚や家族について考えさせられる物語です。

二人の心の動きを丁寧に、繊細に追いながら、物語を通して描かれる壱晴の仕事ぶり。触れ心地がなめらかで、身体を包み込むようにリラックスして座れる椅子。体を休め、そしてまた立ち上るための人生を支え続ける椅子を、木を削って作ろうと苦心する様を読んでみると、自分のための心地の良い椅子に座りたくなります。

## 『名作椅子の由来図典』西川 栄明 (著) 758

人は、立ったままではられません。身体を休めるために座ったり、寝転んだりします。座りやすく、立ちやすい、姿勢も楽にできる椅子。木のかたまりのようなシンプルな椅子から、徐々に座りやすくデザイン性にも富んだ椅子が歴々と作られてきました。本書では、古代エジプトの椅子から現代のデザイナーが作る椅子まで、幅広い年代の名作椅子を紹介しています。「ああ、良い椅子がほしい！」と思ってしまう一冊です。